



ハードウェアのモニタリング

この章は、次の内容で構成されています。

- [ファブリック インターコネクトのモニタリング, 1 ページ](#)
- [シャーシのモニタリング, 3 ページ](#)
- [ブレード サーバのモニタリング, 5 ページ](#)
- [ラックマウント サーバのモニタリング, 8 ページ](#)
- [I/O モジュールのモニタリング, 11 ページ](#)
- [管理インターフェイスのモニタリング, 12 ページ](#)
- [ローカル ストレージのモニタリング, 16 ページ](#)
- [グラフィックス カード モニタリング, 20 ページ](#)
- [Transportable Flash Module と スーパーキャパシタの管理, 21 ページ](#)
- [TPM モニタリング, 23 ページ](#)

ファブリック インターコネクトのモニタリング

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
2. [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] を展開します。
3. モニタするファブリック インターコネクトのノードをクリックします。
4. [Work] ペインで次のタブのいずれかをクリックして、ファブリック インターコネクトのステータスを表示します。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] を展開します。

ステップ 3 モニタするファブリック インターコネクトのノードをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで次のタブのいずれかをクリックして、ファブリック インターコネクトのステータスを表示します。

オプション	説明
[General] タブ	障害の概要、ファブリック インターコネクトプロパティの概要、ファブリック インターコネクトとそのコンポーネントの物理表示など、ファブリック インターコネクトのステータスの概要が示されます。
[Physical Ports] タブ	ファブリック インターコネクトのすべてのポートのステータスが表示されます。このタブには次のサブタブが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Uplink Ports] タブ • [Server Ports] タブ • [Fibre Channel Ports] タブ • [Unconfigured Ports] タブ
[Fans] タブ	ファブリック インターコネクトのすべてのファン モジュールのステータスが表示されます。
[PSUs] タブ	ファブリック インターコネクトのすべての電源モジュールのステータスが表示されます。
[Physical Display] タブ	ファブリック インターコネクトとすべてのポートおよびその他のコンポーネントがグラフィック表示されます。コンポーネントに障害がある場合、そのコンポーネントの横に障害アイコンが表示されます。
[Faults] タブ	ファブリック インターコネクトで発生した障害の詳細が表示されます。
[Events] タブ	ファブリック インターコネクトで発生したイベントの詳細が表示されます。
[Statistics] タブ	ファブリック インターコネクトとそのコンポーネントに関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。

シャーシのモニタリング



ヒント

シャーシ内の個々のコンポーネントをモニタするには、そのコンポーネントのノードを展開します。

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
2. [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] を展開します。
3. モニタするシャーシをクリックします。
4. 次のタブのいずれかをクリックして、シャーシのステータスを表示します。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] を展開します。

ステップ 3 モニタするシャーシをクリックします。

ステップ 4 次のタブのいずれかをクリックして、シャーシのステータスを表示します。

オプション	説明
[General] タブ	障害の概要、シャーシプロパティの概要、シャーシとそのコンポーネントの物理表示など、シャーシのステータスの概要が示されます。
[Servers] タブ	シャーシ内の全サーバのステータスと選択されたプロパティが表示されます。
[Service Profiles] タブ	シャーシ内のサーバに関連付けられたサービスプロファイルのステータスが表示されます。
[IO Modules] タブ	シャーシ内のすべての IO モジュールのステータスと選択されたプロパティが表示されます。
[Fans] タブ	シャーシ内のすべてのファン モジュールのステータスが表示されます。
[PSUs]	シャーシ内のすべての電源モジュールのステータスが表示されます。

オプション	説明
[Hybrid Display] タブ	<p>シャーシとファブリック インターコネクト間の接続に関する詳細情報が表示されます。この表示には、次のコンポーネントを表すアイコンがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • システムの各ファブリック インターコネクト。 • 選択したコンポーネントでの I/O モジュール (IOM)。これは、接続パスを見やすくするために独立したユニットとして表示されます。 • サーバと PSU を示す選択したシャーシ、または選択したラック サーバ。
[Slots] タブ	シャーシ内のすべてのスロットのステータスが表示されます。
[Installed Firmware] タブ	シャーシ内の IO モジュールおよびサーバの現在のファームウェアバージョンが表示されます。このタブを使用して、これらのコンポーネントのファームウェアをアップデートおよびアクティブ化することもできます。
[SEL Logs] タブ	シャーシ内のサーバに対するシステムイベントログが表示され、そのログにアクセスできます。
[Power Control Monitor] タブ	電源グループ、シャーシ、およびサーバの詳細が表示されます。
[Connectivity Policy] タブ	ファブリックに対するシャーシ ID、ファブリック ID、および接続タイプの詳細が表示されます。
[Faults] タブ	シャーシで発生した障害の詳細が表示されます。
[Events] タブ	シャーシで発生したイベントの詳細が表示されます。
[FSM] タブ	シャーシに関連する FSM タスクの詳細およびステータスが表示されます。この情報を使用して、これらのタスクにおけるエラーを診断できます。
[Statistics] タブ	シャーシとそのコンポーネントに関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Temperatures] タブ	シャーシのコンポーネントの温度に関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Power] タブ	シャーシのコンポーネントの電力に関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。

ブレードサーバのモニタリング

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
2. [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] を展開します。
3. モニタするサーバをクリックします。
4. [Work] ペインで次のタブのいずれかをクリックして、サーバのステータスを表示します。
5. [Navigation] ペインで、[Server_ID] > [Adapters] > [Adapter_ID] を展開します。
6. [Work] ペインで、アダプタの次のコンポーネントを 1 つ以上右クリックしてナビゲータを開き、コンポーネントのステータスを表示します。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] を展開します。

ステップ 3 モニタするサーバをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで次のタブのいずれかをクリックして、サーバのステータスを表示します。

オプション	説明
[General] タブ	障害の概要、サーバプロパティの概要、サーバとそのコンポーネントの物理表示など、サーバのステータスの概要が示されます。

オプション	説明
[Inventory] タブ	<p>サーバのコンポーネントのプロパティとステータスに関する詳細情報が次のサブタブに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Motherboard] : マザーボードとサーバ BIOS 設定に関する情報。このサブタブから、破損した BIOS ファームウェアを復旧させることもできます。 • [CIMC] : CIMC とそのファームウェアに関する情報。サーバの SEL にもアクセスできます。また、このサブタブから、静的またはプールされた管理 IP アドレスの割り当て、CIMC ファームウェアの更新、アクティブ化を行うこともできます。 • [CPUs] : サーバの各 CPU に関する情報。 • [Memory] : サーバの各メモリ スロットと、スロットの DIMM に関する情報。 • [Adapters] : サーバに取り付けられた各アダプタに関する情報。 • [HBAs] : 各 HBA のプロパティと、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでの HBA の設定。 • [NICs] : 各 NIC のプロパティと、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでの NIC の設定。各行を展開すると、関連する VIF および vNIC に関する情報を表示できます。 • [iSCSI vNICs] : 各 iSCSI vNIC のプロパティと、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでのその vNIC の設定。 • [Storage] : ストレージコントローラのプロパティ、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでのローカルディスク設定ポリシー、サーバの各ハードディスクに関する情報。 <p>ヒント ハードディスク ドライブやソリッドステート ドライブなどの SATA デバイスがサーバに 1 台以上搭載されている場合、Cisco UCS Manager GUI はその SATA デバイスのベンダー名を [Vendor] フィールドに表示します。</p> <p>ただし、Cisco UCS Manager CLI は [Vendor] フィールドに ATA を表示し、ベンダー名などのベンダー情報は [Vendor Description] フィールドに表示されます。この 2 番目のフィールドは Cisco UCS Manager GUI にはありません。</p>
[Virtual Machines] タブ	サーバでホストされている仮想マシンの詳細情報が表示されます。
[Installed Firmware] タブ	CIMC、アダプタ、その他のサーバ コンポーネントのファームウェア バージョンが表示されます。このタブを使用して、これらのコンポーネントのファームウェアをアップデートおよびアクティブ化することもできます。

オプション	説明
[SEL Logs] タブ	サーバのシステム イベント ログが表示されます。
[VIF Paths] タブ	サーバでのアダプタの VIF パスが表示されます。
[Faults] タブ	サーバで発生した障害の概要が表示されます。 任意の障害をクリックすれば、詳細情報を表示できます。
[Events] タブ	サーバで発生したイベントの概要が表示されます。 任意のイベントをクリックすれば、詳細情報を表示できます。
[FSM] タブ	タスクのステータスなど、サーバで実行されている現在のFSMタスクに関する詳細情報が表示されます。 この情報を使用して、これらのタスクにおけるエラーを診断できます。
[Statistics] タブ	サーバとそのコンポーネントに関する統計情報が表示されます。 これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Temperatures] タブ	サーバのコンポーネントの温度に関する統計情報が表示されます。 これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Power] タブ	サーバのコンポーネントの電力に関する統計情報が表示されます。 これらの統計情報は図表形式で表示できます。

ステップ 5 [Navigation] ペインで、*[Server_ID]* > [Adapters] > *[Adapter_ID]* を展開します。

ステップ 6 [Work] ペインで、アダプタの次のコンポーネントを1つ以上右クリックしてナビゲータを開き、コンポーネントのステータスを表示します。

- アダプタ
- DCE インターフェイス
- HBA
- NIC

ヒント 子ノードを表示するには、テーブル内のノードを展開します。 たとえば、[NIC] ノードを展開すると、その NIC で作成された各 VIF を表示できます。

ラックマウント サーバのモニタリング

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
2. [Equipment] タブで、[Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] を展開します。
3. モニタするサーバをクリックします。
4. [Work] ペインで次のタブのいずれかをクリックして、サーバのステータスを表示します。
5. [Navigation] ペインで、[Server_ID] > [Adapters] > [Adapter_ID] を展開します。
6. [Work] ペインで、アダプタの次のコンポーネントを 1 つ以上右クリックしてナビゲータを開き、コンポーネントのステータスを表示します。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] を展開します。

ステップ 3 モニタするサーバをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで次のタブのいずれかをクリックして、サーバのステータスを表示します。

オプション	説明
[General] タブ	障害の概要、サーバプロパティの概要、サーバとそのコンポーネントの物理表示など、サーバのステータスの概要が示されます。

オプション	説明
[Inventory] タブ	<p>サーバのコンポーネントのプロパティとステータスに関する詳細情報が次のサブタブに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Motherboard] : マザーボードとサーバ BIOS 設定に関する情報。このサブタブから、破損した BIOS ファームウェアを復旧させることもできます。 • [CIMC] : CIMC とそのファームウェアに関する情報。サーバの SEL にもアクセスできます。また、このサブタブから、静的またはプールされた管理 IP アドレスの割り当て、CIMC ファームウェアの更新、アクティブ化を行うこともできます。 • [CPU] : サーバの各 CPU に関する情報。 • [Memory] : サーバの各メモリスロットと、スロットの DIMM に関する情報。 • [Adapters] : サーバに取り付けられた各アダプタに関する情報。 • [HBAs] : 各 HBA のプロパティと、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでの HBA の設定。 • [NICs] : 各 NIC のプロパティと、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでの NIC の設定。各行を展開すると、関連する VIF および vNIC に関する情報を表示できます。 • [iSCSI vNICs] : 各 iSCSI vNIC のプロパティと、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでのその vNIC の設定。 • [Storage] : ストレージコントローラのプロパティ、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでのローカルディスク設定ポリシー、サーバの各ハードディスクに関する情報。 <p>ヒント ハードディスク ドライブやソリッドステートドライブなどの SATA デバイスがサーバに 1 台以上搭載されている場合、Cisco UCS Manager GUI はその SATA デバイスのベンダー名を [Vendor] フィールドに表示します。</p> <p>ただし、Cisco UCS Manager CLI は [Vendor] フィールドに ATA を表示し、ベンダー名などのベンダー情報は [Vendor Description] フィールドに表示されます。この 2 番目のフィールドは Cisco UCS Manager GUI にはありません。</p>
[Virtual Machines] タブ	サーバでホストされている仮想マシンの詳細情報が表示されます。
[Installed Firmware] タブ	CIMC、アダプタ、その他のサーバ コンポーネントのファームウェアバージョンが表示されます。このタブを使用して、これらのコンポーネントのファームウェアをアップデートおよびアクティブ化することもできます。

オプション	説明
[SEL Logs] タブ	サーバのシステム イベント ログが表示されます。
[VIF Paths] タブ	サーバでのアダプタの VIF パスが表示されます。
[Faults] タブ	サーバで発生した障害の概要が表示されます。任意の障害をクリックすれば、詳細情報を表示できます。
[Events] タブ	サーバで発生したイベントの概要が表示されます。任意のイベントをクリックすれば、詳細情報を表示できます。
[FSM] タブ	タスクのステータスなど、サーバで実行されている現在の FSM タスクに関する詳細情報が表示されます。この情報を使用して、これらのタスクにおけるエラーを診断できます。
[Statistics] タブ	サーバとそのコンポーネントに関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Temperatures] タブ	サーバのコンポーネントの温度に関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Power] タブ	サーバのコンポーネントの電力に関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。

ステップ 5 [Navigation] ペインで、*[Server_ID] > [Adapters] > [Adapter_ID]* を展開します。

ステップ 6 [Work] ペインで、アダプタの次のコンポーネントを1つ以上右クリックしてナビゲータを開き、コンポーネントのステータスを表示します。

- アダプタ
- DCE インターフェイス
- HBA
- NIC

ヒント 子ノードを表示するには、テーブル内のノードを展開します。たとえば、[NIC] ノードを展開すると、その NIC で作成された各 VIF を表示できます。

I/O モジュールのモニタリング

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
2. [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [FI-IO Modules] を展開します。
3. モニタするモジュールをクリックします。
4. 次のいずれかのタブをクリックして、モジュールのステータスを表示します。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [FI-IO Modules] を展開します。

ステップ 3 モニタするモジュールをクリックします。

ステップ 4 次のいずれかのタブをクリックして、モジュールのステータスを表示します。

オプション	説明
[General] タブ	障害の概要、モジュール プロパティの概要、モジュールとそのコンポーネントの物理表示など、I/O モジュールのステータスの概要が示されます。
[Fabric Ports] タブ	I/O モジュールのすべてのファブリック ポートのステータスおよび選択されたプロパティが表示されます。
[Backplane Ports] タブ	モジュールでのすべてのバックアップ ポートのステータスおよび選択されたプロパティが表示されます。
[Faults] タブ	モジュールで発生した障害の詳細が表示されます。
[Events] タブ	モジュールで発生したイベントの詳細が表示されます。
[FSM] タブ	モジュールに関連する FSM タスクの詳細およびステータスが表示されます。この情報を使用して、これらのタスクにおけるエラーを診断できます。
[Statistics] タブ	モジュールとそのコンポーネントに関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。

管理インターフェイスのモニタリング

管理インターフェイス モニタリング ポリシー

このポリシーは、ファブリック インターコネクットの mgmt0 イーサネット インターフェイスのモニタ方法を定義します。Cisco UCS によって管理インターフェイスの障害が検出されると、障害レポートが生成されます。障害レポートの数が設定された数に達した場合、システムは管理インターフェイスが使用不能であると見なし、障害を生成します。デフォルトでは、管理インターフェイス モニタリング ポリシーはディセーブルです。

影響を受ける管理インターフェイスが管理インスタンスであるファブリック インターコネクットに属する場合、Cisco UCS は従属のファブリック インターコネクットのステータスがアップであること、それに対する現在のエラーのレポートが存在しないことを確認し、それからエンドポイントへの管理インスタンスを変更します。

影響を受けるファブリック インターコネクットが現在ハイアベイラビリティ設定のプライマリ内部の場合、管理プレーンのフェールオーバーがトリガーされます。データ プレーンは、フェールオーバーの影響を受けません。

管理インターフェイスのモニタリングに関連している次のプロパティを設定できます。

- 管理インターフェイスのモニタに使用されるメカニズムのタイプ。
- 管理インターフェイスのステータスをモニタする間隔。
- 管理が使用できないと判断し障害メッセージを生成する前にシステムの失敗を許容するモニタリングの最大試行回数。



重要

ファブリック インターコネクットの管理インターフェイスに障害が発生した場合、次のいずれかが発生したときは、管理インスタンスを変えないことがあります。

- 従属ファブリック インターコネクット経由のエンド ポイントへのパスが存在しない。
- 従属ファブリック インターコネクットの管理インターフェイスが失敗した。
- 従属ファブリック インターコネクット経由のエンド ポイントへのパスが失敗した。

管理インターフェイス モニタリング ポリシーの設定

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
2. [Admin] タブで、[All] > [Communication Management] を展開します。
3. [Management Interfaces] をクリックします。
4. [Work] ペインで、[Management Interfaces Monitoring Policy] タブをクリックします。
5. 次のフィールドに入力します。
6. モニタリング メカニズムに を選択する場合、領域 の次のフィールドに入力します。
7. モニタリング メカニズムに を選択する場合、領域 の該当するタブのフィールドに入力します。
8. モニタリング メカニズムに を選択する場合、領域 の次のフィールドに入力します。
9. [Save Changes] をクリックします。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。

ステップ 2 [Admin] タブで、[All] > [Communication Management] を展開します。

ステップ 3 [Management Interfaces] をクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[Management Interfaces Monitoring Policy] タブをクリックします。

ステップ 5 次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Admin Status] フィールド	モニタリング ポリシーを、管理インターフェイスに対してイネーブルまたはディセーブルにするかどうか。
[Poll Interval] フィールド	データ記録の間に Cisco UCS が待機する秒数。 90 ～ 300 の整数を入力します。
[Max Report Fail Count] フィールド	Cisco UCS が管理インターフェイスを使用できないと判断し、障害メッセージを生成するまでのモニタリングの最大失敗回数。 2 ～ 5 の整数を入力します。

名前	説明
[Monitoring Mechanism] フィールド	<p>Cisco UCS で使用するモニタリングのタイプ。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Mii Status] : Cisco UCS はメディア独立型インターフェイス (MII) のアベイラビリティをモニタします。このオプションを選択すると、Cisco UCS Manager GUI は [Media Independent Interface Monitoring] 領域を表示します。 • [Ping Arp Targets] : Cisco UCS は指定されたターゲットを Address Resolution Protocol (ARP) を使用して ping します。このオプションを選択すると、Cisco UCS Manager GUI は [ARP Target Monitoring] 領域を表示します。 • [Ping Gateway] : Cisco UCS は、[Management Interfaces] タブでこの Cisco UCS ドメインに指定されたデフォルトゲートウェイアドレスを ping します。このオプションを選択すると、Cisco UCS Manager GUI は [Gateway Ping Monitoring] 領域を表示します。

ステップ 6 モニタリング メカニズムに を選択する場合、領域 の次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Retry Interval] フィールド	<p>前の試行が失敗した場合に、MII から別の応答を要求するまでに Cisco UCS が待機する秒数。</p> <p>3 ～ 10 の範囲の整数を入力します。</p>
[Max Retry Count] フィールド	<p>システムがインターフェイスを使用できないと判断するまでに Cisco UCS が MII をポーリングする回数。</p> <p>1 ～ 3 の整数を入力します。</p>

ステップ 7 モニタリング メカニズムに を選択する場合、領域 の該当するタブのフィールドに入力します。IPv4 アドレスを使用している場合は、[IPv4] サブタブの次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Target IP 1] フィールド	Cisco UCS が ping する最初の IPv4 アドレス。
[Target IP 2] フィールド	Cisco UCS が ping する 2 番目の IPv4 アドレス。
[Target IP 3] フィールド	Cisco UCS が ping する 3 番目の IPv4 アドレス。

名前	説明
[Number of ARP Requests] フィールド	Cisco UCS がターゲット IP アドレスに送信する ARP 要求数。 1 ～ 5 の整数を入力します。
[Max Deadline Timeout] フィールド	システムが ARP ターゲットを使用できないと判断するまでに、Cisco UCS が ARP ターゲットからの応答を待機する秒数。 5 ～ 15 の整数を入力します。

IPv6 アドレスを使用している場合は、[IPv6] サブタブの次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Target IP 1] フィールド	Cisco UCS が ping する最初の IPv6 アドレス。
[Target IP 2] フィールド	Cisco UCS が ping する 2 番目の IPv6 アドレス。
[Target IP 3] フィールド	Cisco UCS が ping する 3 番目の IPv6 アドレス。
[Number of ARP Requests] フィールド	Cisco UCS がターゲット IP アドレスに送信する ARP 要求数。 1 ～ 5 の整数を入力します。
[Max Deadline Timeout] フィールド	システムが ARP ターゲットを使用できないと判断するまでに、Cisco UCS が ARP ターゲットからの応答を待機する秒数。 5 ～ 15 の整数を入力します。

IPv4 アドレスに 0.0.0.0 と入力すると、ARP ターゲットが削除されます。または IPv6 アドレスの場合は N-disc ターゲットが削除されます。

ステップ 8 モニタリング メカニズムに を選択する場合、領域 の次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Number of ping Requests] フィールド	Cisco UCS がゲートウェイを ping する回数。 1 ～ 5 の整数を入力します。
[Max Deadline Timeout] フィールド	Cisco UCS がアドレスを使用できないと判断するまでに、Cisco UCS がゲートウェイからの応答を待機する秒数。 5 ～ 15 の整数を入力します。

ステップ 9 [Save Changes] をクリックします。

ローカルストレージのモニタリング

Cisco UCS でのローカルストレージのモニタリングでは、ブレードまたはラックサーバに物理的に接続されているローカルストレージに関するステータス情報を提供します。これには、RAID コントローラ、物理ドライブおよびドライブグループ、仮想ドライブ、RAID コントローラ バッテリ (BBU)、Transportable Flash Modules (TFM) およびスーパーキャパシタ、FlexFlash コントローラおよび SD カードが含まれます。

Cisco UCS Manager は、アウトオブバンド (OOB) インターフェイスを使用して LSI MegaRAID コントローラおよび FlexFlash コントローラと直接通信するため、リアルタイムの更新が可能になります。表示される情報には次のようなものがあります。

- RAID コントローラ ステータスと再構築レート。
 - 物理ドライブのドライブの状態、電源状態、リンク速度、運用性およびファームウェアバージョン。
 - 仮想ドライブのドライブの状態、運用性、ストリップのサイズ、アクセスポリシー、ドライブのキャッシュおよびヘルス。
 - BBU の運用性、それがスーパーキャパシタまたはバッテリーであるか、および TFM に関する情報。
- LSI ストレージ コントローラは、スーパーキャパシタを備えた Transportable Flash Module (TFM) を使用して RAID キャッシュ保護を提供します。
- SD カードおよび FlexFlash コントローラに関する情報 (RAID のヘルスおよび RAID の状態、カードヘルスおよび運用性を含む)。
 - 再構築、初期化、再学習などストレージコンポーネント上で実行している操作の情報。



(注) CIMC の再起動またはビルドのアップグレード後は、ストレージコンポーネント上で実行している操作のステータス、開始時刻および終了時刻が正しく表示されない場合があります。

- すべてのローカルストレージコンポーネントの詳細な障害情報。



(注) すべての障害は、[Faults] タブに表示されます。

ローカルストレージモニタリングのサポート

サポートされるモニタリングのタイプは、Cisco UCS サーバによって異なります。

ローカルストレージモニタリングについてサポートされる Cisco UCS サーバ

Cisco UCS Manager を使用して、次のサーバについてローカルストレージコンポーネントをモニタできます。

- Cisco UCS B200 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS B420 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS B22 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS B200 M4 ブレードサーバ
- Cisco UCS B260 M4 ブレードサーバ
- Cisco UCS B460 M4 ブレードサーバ
- Cisco UCS C460 M2 ラックサーバ
- Cisco UCS C420 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C260 M2 ラックサーバ
- Cisco UCS C240 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C220 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C24 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C22 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C220 M4 ラックサーバ
- Cisco UCS C240 M4 ラックサーバ
- Cisco UCS C460 M4 ラックサーバ



(注)

すべてのサーバがすべてのローカルストレージコンポーネントをサポートするわけではありません。Cisco UCS ラックサーバの場合は、マザーボードに組み込まれたオンボード SATA RAID 0/1 コントローラはサポートされません。

レガシーディスクドライブモニタリングについてサポートされる Cisco UCS サーバ

レガシーディスクドライブモニタリングのみが、次のサーバで Cisco UCS Manager を介してサポートされます。

- Cisco UCS B200 M1/M2 ブレードサーバ

- Cisco UCS B250 M1/M2 ブレード サーバ



(注) Cisco UCS Manager がディスク ドライブをモニタするには、1064E ストレージ コントローラは、パッケージバージョンが 2.0(1) 以上の UCS バンドルに含まれるファームウェア レベルが必要です。

ローカル ストレージ モニタリングの前提条件

これらの前提条件は、有益なステータス情報を提供するため行われるローカルストレージのモニタリングやレガシー ディスク ドライブのモニタリングの際に満たす必要があります。

- ドライブがサーバ ドライブ ベイに挿入されている。
- サーバの電源が投入されている。
- サーバが検出を完了している。
- BIOS POST の完了結果が正常である。

レガシー ディスク ドライブのモニタリング



(注) 以下の情報は、B200 M1/M2 および B250 M1/M2 ブレード サーバにのみ適用されます。

Cisco UCS Manager のレガシー ディスク ドライブ モニタリングにより、Cisco UCS ドメイン内のサポート対象ブレードサーバについて、ブレードに搭載されているディスク ドライブのステータスが Cisco UCS ドメインに提供されます。ディスク ドライブ モニタリングは、LSI ファームウェアから Cisco UCS Manager への単方向の障害信号により、ステータス情報を提供します。

次のサーバ コンポーネントおよびファームウェア コンポーネントが、サーバ内のディスク ドライブ ステータスに関する情報の収集、送信、および集約を行います。

- 物理的なプレゼンス センサー：ディスク ドライブがサーバ ドライブ ベイに挿入されているかどうかを調べます。
- 物理的な障害センサー：ディスク ドライブの LSI ストレージ コントローラ ファームウェアからレポートされる操作可能性のステータスを調べます。
- IPMI ディスク ドライブの障害センサーおよびプレゼンス センサー：センサーの結果を Cisco UCS Manager に送信します。
- ディスク ドライブの障害 LED 制御および関連する IPMI センサー：ディスク ドライブの障害 LED の状態（オン/オフ）を制御し、それらの状態を Cisco UCS Manager に伝えます。

Flash 寿命消耗レベルのモニタリング

Flash 寿命消耗レベルのモニタリングにより、ソリッドステートドライブの耐用期間をモニタすることができます。残りのFlash寿命の割合およびFlash寿命のステータスをどちらも表示できます。消耗レベルのモニタリングは、Fusion IO メザニンカードを搭載した次の Cisco UCS ブレードサーバでサポートされます。

- Cisco UCS B22 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS B200 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS B420 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS B200 M4 ブレードサーバ
- Cisco UCS B260 M4 ブレードサーバ
- Cisco UCS B460 M4 ブレードサーバ



(注) 消耗レベルのモニタリングには次の必要があります。

- Cisco UCS Manager は Release 2.2(2a) 以降であること。
- Fusion IO メザニンカードのファームウェアバージョンは 7.1.15 以降であること。

ローカルストレージコンポーネントのステータスの表示

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
2. [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] を展開します。
3. ローカルストレージコンポーネントのステータスを表示するサーバをクリックします。
4. [Work] ペインの [Inventory] タブをクリックします。
5. [Storage] サブタブをクリックして、RAID コントローラと FlexFlash コントローラのステータスを表示します。
6. 下矢印をクリックして、[Local Disk Configuration Policy]、[Actual Disk Configurations]、[Disks]、および [Firmware] バーを展開し、その他のステータス情報を表示します。

手順の詳細

-
- ステップ 1** [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] を展開します。
- ステップ 3** ローカル ストレージ コンポーネントのステータスを表示するサーバをクリックします。
- ステップ 4** [Work] ペインの [Inventory] タブをクリックします。
- ステップ 5** [Storage] サブタブをクリックして、RAID コントローラと FlexFlash コントローラのステータスを表示します。
- ステップ 6** 下矢印をクリックして、[Local Disk Configuration Policy]、[Actual Disk Configurations]、[Disks]、および [Firmware] バーを展開し、その他のステータス情報を表示します。
- (注) [Local Disk Configuration Policy] および [Actual Disk Configurations] 領域には、Cisco UCS B460 ブレード サーバのマスター ノードのデータのみが表示されます。スレーブ ノードのフィールドは表示されません。
-

グラフィックス カード モニタリング

グラフィックス カードのモニタリング

Cisco UCS Manager では、特定のグラフィックス カードおよびコントローラのプロパティを表示できます。グラフィックス カードは、次のサーバでサポートされます。

- Cisco UCS C240 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C460 M4 ラック サーバ

グラフィックス カードのプロパティの表示

-
- ステップ 1** [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Equipment] タブで、[Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] を展開します。
- ステップ 3** グラフィックス カード設定を表示するサーバを選択します。
- ステップ 4** [Work] ペインで [Inventory] タブをクリックします。
- ステップ 5** [GPU] サブタブをクリックします。
-

Transportable Flash Module と スーパーキャパシタの管理

LSI ストレージコントローラは、スーパーキャパシタを備えた Transportable Flash Module (TFM) を使用して RAID キャッシュ保護を提供します。Cisco UCS Manager では、これらのコンポーネントをモニタして、バッテリーバックアップユニット (BBU) のステータスを判断できます。BBU の動作ステータスは次のいずれかになります。

- [Operable] : BBU は正常に動作しています。
- [Inoperable] : TFM または BBU が見つからないか、BBU に障害が発生しており、交換する必要があります。
- [Degraded] : BBU に障害が発生すると予測されています。

TFM およびスーパーキャパシタの機能は、Cisco UCS Manager Release 2.1 (2) 以降でサポートされています。

TFM およびスーパーキャパシタの注意事項と制限事項

TFM およびスーパーキャパシタの制限事項

- Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバでは、TFM およびスーパーキャパシタ用の CIMC センサーは Cisco UCS Manager でポーリングされません。
- TFM およびスーパーキャパシタが Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバにインストールされていない場合、またはインストール後に削除されている場合、障害は生成されません。
- TFM が Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバにインストールされておらず、スーパーキャパシタがインストールされている場合、Cisco UCS Manager は BBU システム全体が検出されないと報告します。TFM およびスーパーキャパシタの両方がブレード サーバ上に物理的に存在することを確認してください。

TFM およびスーパーキャパシタをサポートする Cisco UCS サーバ

次の Cisco UCS サーバは、TFM およびスーパーキャパシタをサポートしています。

- Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバ
- Cisco UCS C22 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C24 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C220 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C240 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C420 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C460 M4 ラック サーバ

RAID バッテリ ステータスのモニタリング

この手順は、RAID 設定および TFM をサポートする Cisco UCS サーバにのみ適用されます。BBU が故障した場合、または故障すると予測される場合には、そのユニットをできるだけ早く交換する必要があります。

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] ペインで、[Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] > [Server Number] を展開します。
- ステップ 3 [Work] ペインの [Inventory] タブをクリックします。
- ステップ 4 [Storage] サブタブをクリックして、[RAID Battery (BBU)] 領域を表示します。
-

RAID バッテリ障害の表示



(注) これは、RAID 設定および TFM をサポートする Cisco UCS サーバにのみ適用されます。

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
2. [Equipment] ペインで、[Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] > [Server Number] を展開します。
3. [Work] ペインで、[Faults] タブをクリックします。
4. 状況の詳細を確認するバッテリーを選択します。

手順の詳細

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] ペインで、[Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] > [Server Number] を展開します。
- ステップ 3 [Work] ペインで、[Faults] タブをクリックします。
- ステップ 4 状況の詳細を確認するバッテリーを選択します。
-

TPM モニタリング

トラステッドプラットフォーム モジュール (TPM) は、すべてのCisco UCS M3 ブレード サーバやラックマウント サーバに搭載されています。オペレーティング システムでの暗号化に TPM を使用することができます。たとえば、Microsoft の BitLocker ドライブ暗号化は Cisco UCS サーバ上で TPM を使用して暗号キーを保存します。

Cisco UCS Manager では、TPM が存在しているか、有効またはアクティブになっているかどうかを含めた TPM のモニタリングが可能です。

TPM のプロパティの表示

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] を展開します。
 - ステップ 3 TPM 設定を表示するサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで [Inventory] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Motherboard] サブタブをクリックします。
-

